



Introduction はじめに 2

Report 1 3
 青森ネットワークフォーラム
 「高齢者、若者が活躍する
 まちづくりを考える。」

Report 2 5
 秋田ネットワークフォーラム
 「官民一体となって、福祉について考え、
 つながる」

Report 6 13
 フクシドリンクス@京都
 「福祉 × ○○
 福祉と異業種をつなげる OFF 会」

Report 3 7
 福島ネットワークフォーラム
 「福島 × 関西
 福島と全国のコラボレーション」

Report 4 9
 まちづくりワークショップ in 飯田
 「若手発。住民参加のまちづくり」

Report 5 11
 浜松ネットワークフォーラム
 「福祉と他職種連携。未来をつくる、
 新たな一歩」

Report 7 15
 若手起業家合宿@大阪
 「制度の狭間を支援する、
 社会起業家のつながり」

Report 8 17
 香川絆サミット
 「福祉従事者が自ら動き出す
 コミュニティを作り出す。」

Report 10 21
 沖縄ネットワークフォーラム
 「福祉を当たり前。
 福祉の世界を広めていく。」

Conclusion おわりに 23

Aboutus 運営団体 25

一般社団法人 全国若手福祉従事者ネットワーク
 代表理事 河内崇典

私ども全国若手福祉従事者ネットワーク（通称：若手ネット）のメンバーは、アメリ
 ティーフォーラムに登壇し、「若すぎるから全く新しい実践報告」というテーマでシン
 ポジウムを行ったことから始まりました。

予想をはるかに超える、反響と期待。想いに共感してくれた仲間と共に、若手福
 祉従事者の現状と今後の展望に関するアンケートを実施しました。892 件の若手福
 祉従事者の想いには、十分なキャリアパスがなされないままに「サービス管理責任者」
 や「ユニットリーダー」等を任せられることがあり、不安を抱えながら業務に入ってい
 るという悩みが多くありました。しかし、それでもこの仕事を続けたいという意欲的
 な声もあり、その想いを無駄にしないために、まずは悩みや不安を解消できる仲間
 づくりを広げようと全国でフォーラムを開催する運びとなりました。

2012年度までに、青森、愛知、香川、大阪、佐賀の 5 か所で開催しました。
 多くの若手が語り合い、多くの悩みを共感し、「明日も一緒に頑張ろう」と英気を養っ
 てそれぞれの現場に戻っていきました。「仲間がいる」そう思うだけで真剣に利用者
 さんと向き合う事が出来、チャレンジも出来る。また悩みを抱えたときには今回出会っ
 た仲間と共に共感し解決する為に話し合う。それこそが本当の意味のネットワークで
 あると思います。

「つながりのはじまり」です。

この「つながり」はやがて大きな燈火となり、現場で頑張る若手福祉従事者の人
 脈という宝物として掛け替えのないものとなります。その燈火が次なる運動体として
 働き続ける様に今後も活動していきます。

最後に、今回のネットワークフォーラムに講師としてご尽力頂いた皆様、関係者の
 皆様には心から厚く御礼申し上げます。

そして、福祉現場で頑張る、若手従事者の明るい豊かな未来を創る為に、全力
 でご支援を頂いた日本財団の皆様にも厚く御礼申し上げます。

青森ネットワークフォーラム



- 開催日：2013年 2月 1日
- 開催場所：青森市文化観光交流施設 ねぶたの家W・ラッセ
(青森県青森市安方1丁目1-1)

- 13:30~14:45
基調講演 「人が彩るまちづくり」
横石 知二 氏 (株) いろどり代表取締役社長
- 14:55~16:25
パネルディスカッション 「もっと語りたい! ふくしのかたち。~僕たちの日常と未来~」
○ パネリスト 田中 大生 氏 (社会福祉法人阿闍羅会 ワークショップ大鰐)
丸谷 匡慶 氏 (三戸郡福祉事務組合 明幸園)
神 朋樹 氏 (社会福祉法人田茂木野福祉会 こぶし園)
村井 光輝 氏 (社会福祉法人俊公会 ソーシャルファームオハナ)
斎藤 輔 氏 (NPO 法人あーとど びーた支援センター)
○ コーディネーター 平川 大輔 氏 (社会福祉法人抱民舎 であいの家あうん)
- 16:35~17:25
ミニトーク 『東北若手福祉従事者ネットワークの「未来の構図」』
○ ゲストスピーカー 河内 崇典 氏 (NPO 法人み・らいず)
○ スピーカー 県内学生 2~3名 予定
○ 提案者 大橋 一之 (NPO 法人あーとど)
- 18:00~20:00
懇親会 「生意気 Drinks ~若いからとんがっちゃいました!~」

● 参加者総数=90名

● 参加者性別



参加者アンケートより

- ・若い人がどうしたらこの業界に興味を持ち定着してもらえるか考えていて、タイミングよく同じ内容だったから参加した。
- ・いろいろな人たちとの情報共有や交換、自分の立場の悩みを一緒に共有できたらと思って参加した。
- ・想いや想像を「かたるべ」と言って色々な形が生まれていく機会や場が増えるといいなと思いました。
- ・困難な事例に対するアプローチ方法についてのグループワークやディスカッションからともに考え学ぶ機会があると何かが見えてくるのではと思います。

今後の取り組みの予定

今後は実行委員を構成し、来年度の事業の計画をする予定。来年度もフォーラムを開き、県内の取り組みや若手の方をターゲットにした事業を考案する予定です。

事務局事業所



東北若手福祉従事者ネットワーク

(事務局：特定非営利活動法人あーとど)

住所 青森県五所川原市若葉3-4-3

代表者名 大橋 一之

秋田ネットワークフォーラム



- 開催日：2014年 3月 9日
- 開催場所：秋田キャッスルホテル
(秋田県秋田市中通 1-3-5)

- 13:30~14:30
実践発表
菊池 孝子 氏 (藤里町社会福祉協議会 事務局次長)
- 14:30~15:45
パネルディスカッション
「秋田の福祉未来予想図～実践者に学ぶ可能性と課題～」
○パネリスト
齊藤 恵美子 氏 (秋田市福祉保健部 長寿福祉課 主席主査)
佐々木 暁 氏 (株式会社 SB2 企画 代表取締役)
坂下 美渉氏 (NPO 法人 あきた結いネット 代表理事)
佐藤 達志 氏 (現場職員代表)
○コーディネーター
熊谷 大輔 氏 (地域福祉啓発団体 FIFA 代表)
- 16:00~17:00
トークセッション
「人をつなぎ、人がつながる、その先へ～自らが動き、コミュニティを作る方法～」
○ゲストスピーカー 岡 勇樹 氏 (NPO 法人ウブドベ 代表理事)
○聞き手 熊谷 大輔 氏 (地域福祉啓発団体 FIFA 代表)
- 18:00~20:00
懇親会 「秋田で福祉を語っちゃおう！～あなたの想いが秋田を変える！～」

● 参加者総数=32名

● 参加者性別



基調講演では、藤里町社会福祉協議会でご活躍中の菊池孝子事務局次長に御登壇いただきました。地域のひきこもりの課題を解決する、「こみっと」の取り組みを中心にご紹介いただきました。ひきこもりを、地域の町おこしの一員として活躍させる就労支援、また、ひきこもり支援を通して、地域の協力を得ることで、高齢者のやりがい作りにも貢献している素晴らしい取り組みです。

全国でも注目される、藤里町の取り組みを聞くことで、参加者も秋田の福祉に期待を持ったことかと思えます。

パネルディスカッションでは、行政職員、民間会社経営者、現場支援員など立場も違う方に登壇いただきました。

齊藤氏には、長寿福祉課として取り組んでいる「エイジフレンドリーシティ」の取り組みについてご紹介いただき、佐々木氏、坂下氏には福祉事業所経営者として、それぞれ高齢者支援、障害者支援に対する取り組みを、佐藤氏には現場の職員を代表して、日々の活動を紹介いただきました。

それぞれ違う分野・立場で活動されておりますが、秋田の福祉をよくしていくためには、そういった分野や立場を超えてつながっていくことがとても重要である、というメッセージをいただきました。

トークセッションでは、全国各地で福祉の魅力を発信している、NPO 法人ウブドベの岡勇樹氏に登壇いただきました。

今回のフォーラムのテーマでもある「つながり」について、実践も交えながらお話いただきました。

つながりをつくるためには自分から動きだすこと、そして、つながる人との共通言語をしっかりとつとめること。そんなエッセンスを教えてくださいました。

いろんな人を福祉に巻きこむことで、福祉が変わる。そのためには、このフォーラムに参加した一人一人が主体的に動きだすことが必要であると感じてもらえたのではないのでしょうか。

懇親会には20名近い方に参加いただきました。

参加者同士で、普段の活動の情報交換をすることで、明日からの活動のヒントをえられたのではないのでしょうか。

今回のフォーラムには様々な立場・分野・年齢の方に参加いただきました。

まずは、思いを持ったこのフォーラムの参加者同士がつながり、一緒に活動していくことで、秋田の福祉はよりよくなっていく、そんなことを実感できるフォーラムだったと思います。



今後の取り組みの予定

今回のフォーラムでできたつながりを広げていくため、2014年度も夏にフォーラムを開催する予定です。

今回の参加者から、参加者同士で議論する場がほしいという声を多数いただきました。次回のフォーラムでは、秋田や全国での取り組み事例を聞きながら、参加者同士で、秋田の福祉の未来について語り合う場になればと思います。

事務局事業所



東北若手福祉従事者ネットワーク

(事務局：特定非営利活動法人あーるど)

住 所 青森県五所川原市若葉3-4-3

代表者名 大橋 一之

ふくしまネットワークフォーラム



■ 開催日：2014年3月21日
 ■ 開催場所：ビッグパレットふくしま
 (福島県郡山市南2丁目52)

- 13:15~14:00
 基調講演 「震災から3年。福島の課題とこれから」
 田村 太郎 氏 (復興庁上席政策調査官)
- 14:10~15:10
 福島 × 関西 事例発表
 - 福島 菅家元志氏 (株式会社 Plainnovation 代表取締役)
 上國料竜太氏 (NPO 法人移動保育プロジェクト理事長)
 岩崎大樹氏 (NPO 法人コースター代表理事)
 - 関西 小倉謙氏 (NPO 法人しゃらく代表理事)
 高亜希氏 (NPO 法人ノーベル理事長)
 西川亮氏 (NPO 法人 Co.to.hana 代表)
 山口真史氏 (一般社団法人 new-look 代表理事)
- 15:20~17:20
 ワールドカフェ 「ふくしまの課題とこれから」
 - ファシリテーター 和田祐樹 (ホールアース自然学校)
- 18:00~19:30 懇親会

● 参加者総数=30名

● 参加者性別



事務局事業所



特定非営利活動法人 み・らいず
 住 所 大阪市住之江区南加賀屋 4-4-19
 代表者名 河内 崇典

基調講演は復興庁でもご活躍されている、田村太郎氏にお願いをしました。

被災3県、そして、日本全国を飛び回る中での、福島の課題とこれらについてお話しいただきました。

震災という非日常から「新しい日常」へ。新しい日常、新しい福島を作り出すため、さまざまな方の協力が必要なお話しいただきました。

事例発表では、福島県から3団体、関西から4団体紹介いただきました。子育て支援、保育、若者支援、高齢者支援、まちづくり...

福島と関西から先進的な取り組みを紹介しました。

こんな団体が福島にあったのか！、

こういう関西の取り組みを福島にも取り入れたい！

という声が上がっていました。

発表を聞いた後は、「福島の課題とこれから取り組むべきこと」というテーマでワールドカフェを実施しました。

高齢者、保育、まちづくり、子ども若者、障害福祉

の5つのジャンルに分かれて、参加者同士で議論を行いました。

どのジャンルでも議論が活発に行われ、模造紙いっぱいのアイデアが生まれていました。

今回のフォーラムは福島 × 関西をテーマに、福島と関西のコラボレーションを目指した内容にしました。

ワールドカフェでの議論を通して、

「関西発の福島ツアーを企画したい！」という話や、

「病児保育を福島でも実践したい！」という話が出てきていました。

早速、福島と全国の連携が始まっています。



今後の取り組みの予定

次年度も、同様のフォーラムを開催の予定です。

県外の人に福島の事をもっとしてもらい、福島 × 全国でいろいろなコラボレーションが生まれることを期待して、全国からNPO関係の経営者層を招いての情報交換会を実施します。

まちづくりワークショップ in 飯田



■ 開催日：2014年 3月 28、29日
 ■ 開催場所：天龍峡温泉 龍峡亭
 (長野県飯田市龍江745429)

【1日目】3月29日(土)

- 13:00~14:20
ウォーミングアップ
開会のあいさつ・チェックイン・アイスブレイク
- 14:20~16:00
話題提供+想いの共有
話題提供：天龍峡温泉観光協会、み・らいず、感環自然村
感想のシェア・インタビュー
- 16:00~18:00
未来像の探求
ワールドカフェ・ハーベスト
- 18:00~19:30
交流会
- 19:30~20:30
移動
- 20:30~22:00
語り合い
分科会形式での議論・チェックアウト

【2日目】3月30日(日)

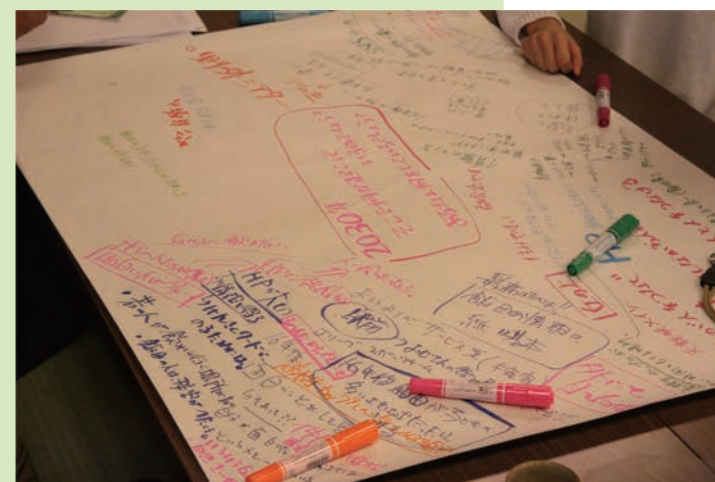
- 9:00~12:00
作りたい未来に一步踏み出す
チェックイン・シェアードビジョン・シナリオプランニング・全体対話・チェックアウト

● 参加者総数=21名

● 参加者性別



長野では、他のフォーラムとは少し毛色を変え、さまざまな分野で活躍する若者を集めた、まちづくりのワークショップを開催しました。福祉事業所のメンバーだけでなく、農家さんや、養豚業、マッサージ師など様々な肩書きを持ったメンバーが集まりました。普段、接することがないメンバーが集まったので、自己紹介から始めていった、ワークショップも時間の経過とともに、参加者同士の距離も近づいていきました。「まちづくり」というテーマのもと、お互いの強みを持って話し合いをすることで、様々なアイデアが生まれていきました。スペシャルオリンピックの誘致、ファーマーズマッサージ、おもしろびと図鑑 etc...ここで出たアイデアを行動に移すために、助成金をとっていく、という動きも見られました。福祉に関わりながら、まちづくりをしていく。福祉のあるべき姿が見えたような気がしました。今後の飯田の動きがとても楽しみになるワークショップでした。



今後の取り組みの予定

今回のワークショップで出た意見を実現に移すために2014年度以降も定期的にワークショップを開催する予定です。今回できたつながりをさらに広げていくため、よりいろいろな職種の方に参加していただく予定です。飯田の方を大阪にお招きするなど、相互の交流もできればと思っております。

事務局事業所



感環自然村

住所 長野県飯田市川路 4992-1

代表者名 阪井 公淳

浜松ネットワークフォーラム



- 開催日：2013年11月30日
- 開催場所：TKP 浜松アクタタワーカンファレンスセンター
(静岡県浜松市中区板屋町
111-2 浜松アクタタワー内)

- 13:40~14:50
基調対談 「若手福祉従事者に望むもの、若手福祉従事者に伝えたいこと」
講師 田中正博氏(社会福祉法人 全日本手をつなぐ育成会 常務理事)
小出隆司氏(静岡県手をつなぐ育成会 会長)
- 15:00~16:10
シンポジウム① 「次世代をひびく人材になるために」
○ シンポジスト 山之内洋氏
(社会福祉法人 滋賀県社会福祉事業団 ホーム支援室 室長)
大橋一之氏(特定非営利活動法人 あーんど 理事長)
○ コーディネーター 小田泰久氏(特定非営利活動法人 楽笑 理事長)
- 16:20~17:30
シンポジウム② 「福祉×○○ ~多職種との連携から始まるこれからの福祉~」
○ シンポジスト 清水太士氏(半田市 地域福祉課)
内海和幸氏(東海ビル管理株式会社 管理部 次長)
増田章太氏(特定非営利活動法人 静岡福祉総合支援の会 空と大地と)
藤田理格氏(特定非営利活動法人 プレママクラブ 放課後等児童デイサービスドーナツ MaMa)
○ コーディネーター 加藤恵氏(社会福祉法人 半田市社会福祉協議会 障がい者相談支援センター センター長)
- 18:30~ 懇親会

● 参加者総数=82名

● 参加者性別



本フォーラムは、浜松駅前の総合ビル内の会場で行われました。会場へのアクセスの利便から、静岡県内をはじめ、愛知県からの参加者も多く集まりました。参加者は皆真剣な表情で講演やシンポジウムに参加されており、会場のあちこちで名刺交換が行われる様子が見られました。フォーラム前は参加者がどれくらいあるのかと心配の声も聞かれましたが、当日参加の方も多く、浜松の地で新たなネットワークの形成の基になる場になったのではないのでしょうか。



今後の取り組みの予定

実行委員メンバーを中心とした合同合宿を行う予定が決まっております。若手福祉従事者のつぎなる担い手として、これからの福祉をどう考えていくかを熱く語りあい、これを期にさらなる地域への情報発信や啓発につなげていき、中部地区のネットワークを広げていきたいです。

事務局事業所



中部若手福祉従事者ネットワーク

(事務局：特定非営利活動法人 楽笑)

住所 愛知県蒲郡市三谷町魚町通 12-1

代表者名 小田 泰久

フクシドリンクス@京都



- 開催日：2014年1月17日
- 開催場所：エクスクラメーション・フーズ !-foods
(京都市中京区三条新町上ル東側)

『福祉 × デザイン』

福祉が異業種と出会う場・つながる場として、今回はデザイナーと交流をする。

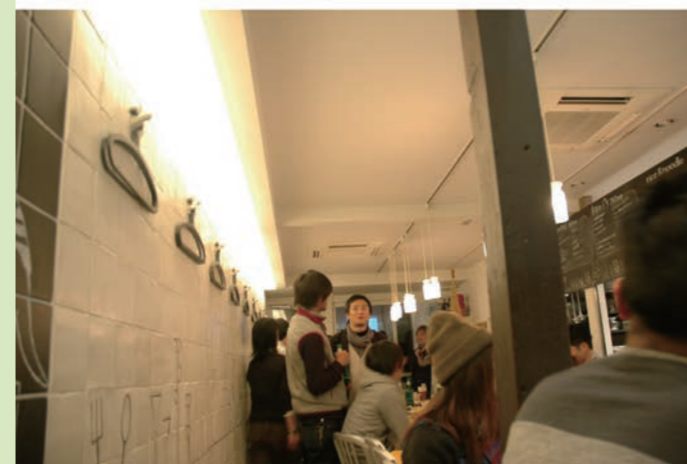
- 19:10 ~ 19:55
 - 『福祉 × デザイン』というテーマを基に、3代表によるディスカッション
 - 「デザインを取り入れたきっかけ」
 - 「どんな目的で取り入れてきたのか」
 - 「今後の取り組みについて」
 - ゲストスピーカー
 - 吉野 智和 氏 (特定非営利活動法人エクスクラメーション・スタイル 統括マネージャー)
 - 久田 亮平 氏 (特定非営利活動法人サンフェイス 理事長)
 - 河内 崇典 氏 (特定非営利活動法人み・らいず 代表理事)
 - コーディネーター 栢谷 礼路 特定非営利活動法人み・らいず
- 19:55 ~ 20:50 参加者全体でのディスカッション。

● 参加者総数=27名

● 参加者性別



今回は、エクスクラメーション・スタイルさんの場所をお借りして、小規模の集まりで行いました。デザイン職9名、福祉職18名の参加がありました。福祉の立場から、またデザインの立場から、それぞれの取り組みについて話し、普段なかなか関わることの少ない業種同士が交流することができました。名刺交換をしたり、フォーラム終了後も連絡をとりあっている所があったりと、新たなつながりが生まれたかと感じます。交流の時間ももっとほしかったとの声がありましたので、今後時間配分をもう少し考えて行けたらと思います。



事務局事業所



特定非営利活動法人 み・らいず
住 所 大阪市住之江区南加賀屋 4-4-19
代表者名 河内 崇典

今後の取り組みの予定

今回のフクシドリンクス@京都をきっかけに、3月に大阪高槻市でも開催をしようと考えています。今回は、福祉と異業種が出会い、つながる場として開催し、福祉の魅力を発信したいという思いもありましたが、次回はより若手の福祉職が集まり、横のつながりを広げていくような会を開催したいと思っています。

若手起業家合宿@大阪



- 開催日：1回目 2013年12月2,3日
2回目 2014年3月12,13日
- 開催場所：ロッジ舞洲
(大阪市此花区北港緑地 2-3-75)

1回目

● 参加者総数=17名

● 参加者性別



2回目

● 参加者総数=28名

● 参加者性別



1回目 ファシリテーター：嘉村賢州氏 (NPO 法人場とつながりラボ Home's vi)

- 12月2日
- ▼オープニング 13:00-14:00
チェックイン・趣旨説明・アイスブレイキング
- ▼コミュニティビルディング 14:00-16:00
ハイポイントインタビュー + 他己紹介
- ▼社会起業家としての自己メンテナンスの指標を作ろう 16:00-17:00
- ▼テーマダイアログ 17:00-19:00
- ▼飲み会に向けて「ぶっちゃけ聞いてみたい事」 21:00-
- ▼懇親会 22:00-
- 12月3日
- ▼オープニング 9:00-9:30
- ▼理想の未来像を探求する「シェアードビジョン」 9:30-10:30
- ▼未来へのシナリオを考える「シナリオプランニング」 10:30-13:30
- ▼シナリオ実現に向けての理想の事業を考える 13:30-14:30
- ▼エンディング 14:30-15:00

2回目 ファシリテーター：嘉村賢州氏 (NPO 法人場とつながりラボ Home's vi)

- 3月2日
- ▼オープニング 10:00-12:00
- ▼企画書講座 13:00-20:00
「もしも1000万円の予算があったら。企画書・提案書を書いてみる。」
講師：関原深氏 (株式会社インサイト 代表取締役)
アドバイザー：金子知史氏 (日本財団公益ボランティア支援グループ災害支援チーム)
- ▼懇親会 21:00-
- 3月3日
- ▼オープニング 9:00-10:00
- ▼分科会形式の議論 10:00-14:00
- ▼エンディング 14:00-15:00

社会の課題解決に取り組んでいる、起業家の合宿を2013年12月に第一回、2014年3月に第二回を開催しました。

1回目はお互いの事業の理解や悩んでいることを共有するために、多くの時間の対話をし、2回目は1回目の合宿で出た課題をもとに企画書講座を実施しました。

起業家同士がお互いに切磋琢磨し、高め合う仲間になるとともに、社会課題解決に向けて事業連携を進めていく、そんな会になればと思い企画しました。合宿の中では積極的に意見交換が行われ、次に繋がる活動の気付きや、お互いの事業見学など連携に向けての一步が生まれつつあります。



参加者アンケートより

- ・ 企画書研修がすごくよかった。もっと、時間をかけてじっくり企画書の書き方の勉強をしたい!
- ・ 他の実践者の方の話を聞けてとても刺激になった。次回もあればまた参加したいです。
- ・ 普段の活動での悩みを共有できる、このような場があつてうれしい。今後も継続して参加したい。
- ・ 関西以外からも参加している方と交流できてよかった。県外の人ともコラボできたらおもしろい

今後の取り組みの予定

社会の課題解決に向けて、起業家同士が切磋琢磨していく場は今後も必要になってきます。

アンケートから今後、テーマにしたいお題をいただいたので、2014年度以降も合宿を通して、足りないスキルを学ぶと共に、より連携を強めていくつながり作りをしていきます。

また、2回目は石川や沖縄からの参加者もあり、今後はより全国の起業家も巻き込んでいければと思います。

事務局事業所



みらいず

関西若手福祉従事者ネットワーク

(事務局：特定非営利活動法人 み・らいず)

住 所 大阪市住之江区南加賀屋 4-4-19

代表者名 河内 崇典

かがわ絆サミット



■ 開催日：2013年11月2日
 ■ 開催場所：坂出グランドホテル
 （香川県坂出市西大浜北 1-2-33）

- 18:30~20:00
 分科会形式セミナー 共通テーマ「福祉目線で考える魅力的な待ちづくりとは？」
 第1分科会 講師：嘉村賢州 氏 アイスブレイク→嘘つき自己紹介→香川県の未来新聞作成
 第2分科会 講師：原田さゆり 氏 アクティブブレインセミナー～起業脳と実現脳～
 第3分科会 講師：岡 勇樹 氏 「ユニバーサルタウンかがわを作ろう」フォーラム
- 20:00~20:30
 懇親会（食事タイム）
- 20:30~21:45
 200人みんなで考える香川の待ちづくり ～今できること、やってみたいこと～
- 21:45~22:00
 フィードバック
- 22:00 終了

● 参加者総数=204名

● 参加者性別



第2回目の開催にも関わらず高知、愛媛、大阪、神奈川からの参加者も含め 200 名を超えた。約4割が介護福祉・医療従事者で、前回同様行政関係者、大学生、現役国会議員を始め様々な職種、世代、地域の人と誰もが暮らしやすい待ちづくりについて考えることができた。参加型フォーラムが特徴であり、講演やセミナーを聞く形式から自己発言とアウトプットすることにより形成される仲間や、繋がりが今後の展開を期待させるものとなった。

事務局事業所



特定非営利活動法人 あいあい
 住 所 香川県綾歌郡宇多津町浜 6 番丁 89-2
 代表者名 本西 志保

今後の取り組みの予定

今年度の取り組みは、Facebook を活用することにより参加者と常に連絡が取れる環境にあるため、2回にわたるフォーラムで提言されたものを具現化する組織を作っていく。介護保険においても平成27年度から地域支援事業が新しく創設されるため、障害福祉分野でも社会活動や働く環境を中心に広く啓蒙活動を続けていきたい。介護福祉関係者だけでなく、自治体と一緒に考える任意の団体や社会資源となるグループの育成にも着目していきたい。

九州ネットワークフォーラム



■ 開催日：2014年12月21、22日
 ■ 開催場所：鳥栖市民文化会館
 (佐賀県鳥栖市宿町1118番地)

【1日目】12月21日(土)

- 10:00~12:00
 基調シンポジウム「地域で支えるということ。～九州が誇る先駆者に聴く～」
 登壇者：田島氏 村上氏 聞き手：福島
- 13:00~14:30 SESSION1
 【制度】これからの福祉と社会保障制度登壇者
 福岡氏 蒲原氏 大原氏 聞き手：福島
 【支援】働くって素晴らしい。～就労支援の可能性～登壇者
 鈴木氏 川内氏 聞き手：田代 末松
- 15:00~16:30 SESSION2
 【文化】パフォーマンスを楽しもう。Let's Perform!
 登壇者：猪八重氏 松岡氏 聞き手：田島
 【つながり】つながりが生み出すもの～事業所のネットワークを創ろう～
 登壇者：宮原氏 川内氏 聞き手：末松
- 17:00~18:00 SPECIALSESSION
 実行委員メンバーセッション 私たちが目指しているもの

【2日目】12月22日(日)

- 8:30~10:00 SESSION3
 【制度】これからの障がい福祉を考える。～障害者総合支援法の流れの中で～
 講師：吉田氏 聞き手：水流
 【支援】地域で考える～重度の方たちの地域生活支援～
 登壇者：森口氏 佐竹氏 聞き手：田島
- 10:30~12:00 SESSION4
 【文化】新しい可能性を拓くArt!～その素晴らしい世界～
 登壇者：井上氏 村谷氏 聞き手：末松
 【つながり】地域のつながり～サービス等利用計画を中心に～
 講師：加藤氏 聞き手：佐藤

● 参加者総数=283名

● 参加者性別



当フォーラムは、九州各地より300名を超える参加者が集まり、フォーラムを通じて、研修もさることながら、多くの福祉従事者が思いや悩みを共有する機会となりました。参加者の皆さんは、名刺を交換し、各地の課題等を議論しながら、有意義な時間を過ごせたと思います。このフォーラムをきっかけに生まれた「つながり」を基に、今後の九州におけるネットワークが充実していくと思います。



参加者アンケートより

- ・若い人たちの考え方にとても感動しました。きっとこれから日本の福祉はよくなるでしょう。
- ・今まで外の話なかなか聞くことがなかったのですが、このフォーラムに参加してすごく良かったと思います。帰郷して試したいことがたくさん見つかりました。次回もあるなら、ぜひ参加したいと思います。
- ・今回のフォーラムで学んだことを法人内、事業所内でも生かしていければと思います。多くの方と「つながり」を持ち利用者支援に携わっていきたく考えています。
- ・現場では様々な悩みや問題を抱えているのだと思いますが、若い方々が、方向(目的や信念のようなもの)を見つめて歩んでいただければ、一親としては安心です。期待しております。

今後の取り組みの予定

第2回の開催も10月末に決定しており、前回生まれた「つながり」をより強くいき、また、新しいネットワークも築いていきたいです。九州各県の実行委員を中心に、セッションの内容等をより充実させていき、より良いフォーラムを目指していきます。

事務局事業所



九州若手福祉従事者ネットワーク
 (事務局：特定非営利活動法人 ライフサポートはる)
 住所 佐賀県佐賀市開成5丁目5-8
 代表者名 福島 龍三郎

沖縄ネットワークフォーラム



- 開催日：2013年7月7日
- 開催場所：那覇市職員厚生会館 多目的ホール
(沖縄県那覇市おもろまち1-1-2-3階)

- 13:00~13:05 挨拶(実行委員長)
- 13:05~13:20
オープニングトーク ~僕のごだわり、これからの福祉~
松本哲治氏(浦添市長)
- 13:20~13:50
ケースセッション~僕たち私たちのごだわり~
*知念忠昭氏(NPO法人交流広場ハッピーハウス 所長)
*金城隆一氏(NPO法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい 代表理事)
*福元信美氏(糸満市福祉部社会福祉課 糸満ワークエンジョイプロジェクト担当)
*河内崇典氏(NPO法人み・らいず 代表理事)
*秋本康治氏(沖縄ソーシャルファーム協議会事務局)
*喜納平氏(社会福祉法人トゥムヌイ福祉会 理事)
- 13:50~14:05
休憩&コメントシート記入
- 14:05~15:05
参加者全体でクロストーク&ディスカッション
~これからの福祉、どうしていきましょう?!~
*コーディネーター:今津新之助(株ルーツ代表取締役)
- 15:05~15:15 総括:加瀬進先生(東京学芸大学教授)
- 15:30~16:00 ダイレクトトーク&交流会
- 16:30~19:30 懇親会

● 参加者総数=130名

● 参加者性別



事務局事業所



株式会社ルーツ

住所 沖縄県浦添市西原1-4-9-1F

代表者名 今津新之助

オープニングトークでは、松本市長より、大学から事業所立ち上げ、市政に携わるまでの経験、その中で感じたこと、そして今も変わらない「福祉人」としての在り方についてお話しいただきました。

福祉の世界は常に人出不足などところはあるけれども、異分野との関わり・連携や外の世界に触れて、福祉の世界に持ち帰ることも大切である、思い切って一度離れてみるという選択をしても良いのではないかとお話しいただきました。

ケースセッションでは、後に控えているディスカッションでの質問が出やすくなるよう、1人3~5分のリレー形式でパネリストの自己紹介・オピニオン発表をしました。

パネリストの興味関心・立場、事業内容、大切にしていること、課題意識などポイントを絞って伝えられるよう工夫しましたが、時間が足りず、駆け足での紹介となってしまいました。参加者を飽きさせることなく特徴を伝えられたかと思えます。

パネルディスカッションは今回のフォーラムの一番の見どころでした。

パネリストに聞きたいことを会場から質問シートで集め、集まった質問を基に進めていくという形をとりました。「福祉事業の経営的視点」「人を巻き込むポイント」「これからの福祉について」など、多くの論点で盛り上がりを見せ、参加者が本当に聞きたいことに答えられる会になったと思います。

また、パネリストも児童・介護・就労・ひきこもり・行政・異業種と様々だったのでそれぞれの立場・視点からの意見交換となり、活気ある場となりました。

フォーラムと同じ会場でレイアウト変更しての交流会としました。パネリストと直接話したり、参加者同士で名刺交換したりということが会場中で自発的に行われ、事業所間の連携の話や、大学生と事業所のマッチングの話など様々な出会いを創出しました。

また、福祉事業所のパンやちんすこうといった軽食を出し、マイクで商品の紹介をしてもらい、会場内にはパンフレット等も置いて、今後のつながりができればという工夫をしました。

参加者の方々からも好評のお声を頂き、「またこういった機会があったらぜひ参加したい」など、フォーラムへの満足度も概ね高かったです。

当日は福祉従事者のみならず、市町村や県職員、異業種、大学生など幅広い方々が集まり、会が進行していきました。どんな立場・興味関心があるのかがわかるような名札の代わりにカードを用意し、参加者同士がつながりやすくなるような工夫をしたことで初対面同士でも話しかけやすくなったのではと思います。

もっとできたこととしては、交流会のテーブルごとにテーマを設定したり、グループディスカッションの時間も設けるとより参加者同士での話を深めることができたかもしれません。反省を生かして次につなげたいです。

今回のフォーラムでは答えきれなかった質問も多く、イベント単発で終わってしまうことのないよう、継続したつながりを持つために、まずは2013年7月28日(日)に「延長戦」を開催します。

延長戦では、「登壇者」と「参加者」というように分けるのではなく、よりフラットに、疑問にも持っていること・やりたいこと・考えていることを話し、本当の意味でのつながりをつくっていけないか(相談相手でも、情報交換網でも、事業連携でも)を探りたいと思います。



今後の取り組みの予定

若手福祉従事者ネットワークフォーラムの開催も3年目を迎えました。

今年度は全国計10カ所でフォーラムを開催。

それぞれの地域で、必要な形でフォーラムを開催してきました。

- ・ 多数の講師を招いての勉強会形式のフォーラム
- ・ 対話型ワークショップを取り入れながら参加者同士が議論するフォーラム
- ・ 都道府県単位を飛び越し、エリア単位でのフォーラムの開催
- ・ 福祉の社会課題を解決する社会起業家をターゲットにした合宿
- ・ 異業種とのコラボレーション

地域にはそれぞれ特徴があり、その特徴を生かしながら、つながりづくりをしていく。

その考えで、活動をしてきました。

この3年間で確実に、各地域で福祉従事者のつながりは増え続け、福祉従事者の輝きが増えています。

これからも若手福祉従事者ネットワークフォーラムは地域で必要とされる形で、つながりを生み続けていきます。

さらに、若手ネットは新たなステージへと進んでいきます。

3年間活動してきた中で、フォーラムだけでは解決できない課題に今、直面しています。

「福祉で働く人を増やすこと」

「日本の福祉を担うリーダーを育てること」

福祉がより発展をするためには、このことは欠かせません。

そのため、若手ネットは、来年度、下記の事業にも取り組んでいきます。

① 福祉の就職フェアの開催

大学生にとって福祉が憧れの職業となれるように、大学生にアプローチします。

既存の就職フェアへの参加と、新たな福祉の就職フェアの開催を通して、

大学生に福祉の魅力を伝えていきます。

② 次世代リーダーを育てる、リーダー合宿の開催

若手ネットが全国で出会った、福祉の未来を担う原石を集め、リーダー育成合宿を開催します。

今の福祉を作り上げてきた、先人たちの意見を聞きながら、リーダー候補たちが、

福祉の未来について語り合える合宿を企画します。

**福祉が発展しつづけていくことを目指して、
若手ネットは今後も活動し続けます。**



名称	一般社団法人 全国若手福祉従事者ネットワーク
代表	河内 崇典
所在地	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1 大阪駅前第一ビル6階103号室
設立	2012年 11月
TEL / FAX	06-4799-0108 / 06-4799-0107
Email	office@wakamononet.org
WEB SITE	http://www.wakamononet.org/
Facebook	http://www.facebook.com/wakatenet

構成メンバー



【代表理事】河内 崇典
(特定非営利活動法人み・らいず
代表理事)



【理事】福島 龍三郎
(特定非営利活動法人
ライフサポートはる 理事長)



【理事】本西 志保
(株式会社ミンク 代表取締役)



【理事】大橋 一之
(特定非営利活動法人あーんど
理事長)



【理事】小田 泰久
(特定非営利活動法人楽笑
理事長)



【理事】加藤 恵
(半田市障がい者相談支援センター
センター長)

